

公認心理師養成大学教員連絡協議会（公大協）

2022年度 総会・連携会議 議事録

1. 本年度の総会・連携会議の形態について

2022年度の公大協の総会と連携会議は、2020～2021年に続いて、メールマガジン第4巻1号での誌上開催とすることとしました。新型コロナウイルス感染防止のために、公大協の総会と連携会議も対面形式で開催することができないためです。

2. 報告事項

昨年度の総会（2021年6月）から2022年9月までの公大協の活動を報告した。

2021年

6月26日 公大協の運営会議が開かれ、新年度の役員・委員会が発足しました。

https://psych.or.jp/qualification/shinrishi_info/training_meeting/

8月25日 公大協メールマガジン第3巻1号を配信しました（会員限定）。2021年度の公大協総会・連携会議の誌上開催をおこないました。

また、この号から紙面のリニューアルをおこないました

9月1日～8日 公大協シンポジウム「実践現場からみた公認心理師制度」が開催されました（日本心理学会との共催）。公認心理師制度推進室から公認心理師専門官吉橋実里氏が話題提供をおこないました

9月3日 カリキュラム改訂と出題基準改定案作成のための4委員会合同会議が開催されました

11月10日 コアカリキュラム案作成のための4委員会合同会議が開催されました

2022年

3月31日 2021年度の公大協の活動を年報にまとめ、ホームページで公表しました

https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2022/03/AnnualReport_2021.pdf

巻頭言は坂上貴之氏（公益社団法人日本心理学会理事長，一般社団法人日本心理学諸学会連合理事長）にいただきました。また、公大協の公認心理師教育コアカリキュラム案（中間報告）を掲載しました。公認心理師制度推進室に提出しました

3月31日 公大協メールマガジン第3巻2号を配信しました（会員限定）

5月16日 日本学術会議心理学・教育学委員会の5分科会（公認心理師の専門性と社会貢献検討分科会，健康・医療と心理学分科会，法と心理学分科会，心の総合基礎分科会，心の研究将来構想分科会）から、公認心理師教育コアカリキュラム案の後援をいただきました。

5月21日 公認心理師教育コアカリキュラム案（中間報告 ver.2）を公開し、パブリックコメントの募集を開始しました（締切2022年6月20日）。

8月10日 公大協の現場実習（心理実践実習）実習指導者用手引き，同実習生用手引き，実習指導者講習会プログラム案をウェブサイトに公開しました。

8月31日 公認心理師法附則第5条への対応について公認心理師制度推進室のヒアリングに公大協が参加し，意見を述べ，回答文書を提出しました。

9月8日～11日 公大協シンポジウム「公認心理師のコアカリキュラムを考える：公認心理師養成大学教員連絡協議会による試案」開催しました（日本心理学会との共催）。公認心理師制度推進室から公認心理師専門官吉橋実里氏が話題提供をおこないました。

9月 2022年度の公大協の運営会議が開かれました。

9月 公大協メールマガジン第4巻1号を配信しました（会員限定）。2022年度の公大協の総会・連携会議を誌上開催でおこないました。

3. 各委員会からの活動報告

学部カリキュラム検討委員会

公認心理師教育コアカリキュラム案（大学カリキュラム、卒業論文）の作成

大学院カリキュラム検討委員会

公認心理師教育コアカリキュラム案（大学院カリキュラム、修士論文）の作成

現場実習検討委員会

公認心理師教育コアカリキュラム案（実習）の作成

国家試験検討委員会

公認心理師教育コアカリキュラム案の作成、公認心理師試験出題基準の検討

編集委員会

年報の編集、冊子の送付先の検討
広報委員会
会報のメールマガジンの発行と配信

4. 公大協の2022年度以降の活動

公大協は、2021年から1年以上をかけ、総力をあげて「公大協 公認心理師教育コアカリキュラム案」を作成してきました。2022年5月21日には、コアカリキュラム案（中間報告 ver. 2）を公開し、会員や加盟団体に対するパブリックコメントの募集を開始し、6月20日に締め切られました。現在、パブリックコメントを反映させた最終案を作成中です。

2022年度は、公認心理師法の附則第5条に記載された対応（いわゆる5年後の見直し）がおこなわれる年です。2022年8月31日に、公認心理師制度推進室のヒアリングがおこなわれ、公大協も参加しました。公大協は、上の「公大協 公認心理師教育コアカリキュラム案」にもとづいて、意見を述べ、回答文書を提出しました。

発足以来5年半を迎えた公大協ですが、これから一層の活発化をめざして、組織の拡大・充実をはかっていきます。公認心理師が真に国民のために大きく貢献できるように、またその養成が実のあるものになるように、公大協は活動を続けていきたいと思っております。今後も皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。